

報告第6号

多可町の教育の点検及び評価の報告について

地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号）第26条の規定により、多可町の教育の点検及び評価について報告する。

令和4年9月2日提出

多可町教育長 越川昌信

令和3年度

多可町の教育の点検及び評価

報 告 書

令和4年9月

多可町教育委員会

# 目 次

1. はじめに	1
2. 教育委員会の活動及び運営状況	1
(1) 教育委員会（教育長及び教育委員）	1
(2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等	1
(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況	3
① 研修等	3
② 教育委員会関連事業	3
ア) 入学式・卒業式	3
イ) 運動会・体育祭	3
ウ) 学校園訪問等	3
3. 教育委員会の点検・評価	4
(1) 点検・評価方法	4
① 点検・評価の対象	4
② 点検・評価の方法	4
③ 評価委員	4
④ 点検・評価の構成	4
ア) 項 目	4
イ) 事業名	4
ウ) 事業を構成する業務・自己評価・今後の方向	4
エ) 評 価	4
⑤ 公 表	4
(2) 総括評価票	5
① 教育総務課（図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター）	6
② 学校教育課	7
③ こども未来課	8

(3) 教育委員会の点検・評価シート（令和3年度事業）	・・・・・・・・	9
【 教育総務課（図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター） 】	・・・・・・・・	9
I ー 1 教育委員会運営事業	・・・・・・・・	10
I ー 2 教育委員会事務局事業	・・・・・・・・	11
I ー 3 学校園施設整備事業	・・・・・・・・	12
I ー 4 就学援助事業、ハートフル学業支援金給付事業	・・・・・・・・	13
I ー 5 図書館運営事業	・・・・・・・・	14
I ー 6 那珂ふれあい館運営事業	・・・・・・・・	15
I ー 7 文化財保護事業	・・・・・・・・	16
I ー 8 学校給食運営事業	・・・・・・・・	17
【 学校教育課 】	・・・・・・・・	18
II ー 1 教職員研修事業	・・・・・・・・	19
II ー 2 特別支援教育推進事業	・・・・・・・・	20
II ー 3 体験教育事業	・・・・・・・・	21
II ー 4 生徒指導充実事業	・・・・・・・・	22
II ー 5 青少年健全育成事業	・・・・・・・・	23
II ー 6 学力向上事業	・・・・・・・・	24
II ー 7 体力向上事業	・・・・・・・・	25
【 こども未来課 】	・・・・・・・・	26
III ー 1 児童館、子育てふれあいセンター事業	・・・・・・・・	27
III ー 2 こども園等運営助成事業	・・・・・・・・	28
III ー 3 学童保育事業	・・・・・・・・	29
III ー 4 要保護児童対策事業	・・・・・・・・	30
III ー 5 子ども・子育て支援事業	・・・・・・・・	31
III ー 6 通園バス運行事業	・・・・・・・・	32
III ー 7 社会教育推進事業	・・・・・・・・	33
III ー 8 幼児教育・保育事業	・・・・・・・・	34

## 1. はじめに

教育委員会が所管する事務の管理及び執行の状況については、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律(昭和31年法律第162号)」第26条の規定に基づき点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成することが定められています。また、その報告書は、議会に提出するとともに、広く公表することとなっています。

令和3年度多可町の教育の点検及び評価では、教育振興基本計画「第2次多可町教育ビジョン」に定める指標等も関連付けたうえで、客観的・専門的な視点を取り入れるべく外部有識者による意見聴取会を実施し、報告書にまとめました。

多可町の教育行政が充実し、基本理念である「明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり」の実現につながるよう、事業の成果を検証・精査し、次年度の施策につなげてまいります。

## 2. 教育委員会の活動及び運営状況

### (1) 教育委員会（教育長及び教育委員）

(令和4年3月31日現在)

職名	氏名	任期	備考
教育長	越川 昌信	令和 3年1月1日～令和 5年12月31日	
委員	安藤 和志	平成31年1月1日～令和 4年12月31日	教育長職務代理者
委員	岩田 光代	令和 3年1月1日～令和 6年12月31日	
委員	木俣美代子	令和 2年1月1日～令和 5年12月31日	
委員	名生 陽彦	令和 4年1月1日～令和 7年12月31日	

### (2) 教育委員会の開催状況及び付議された議案等

開催日	区分	付議案件等
令和3年 4月22日	定例	承認第 2号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について 議案第22号 多可町就学援助規則準要保護の認定について 議案第23号 多可町子育て緊急特別給付金事業実施要綱の制定について 議案第24号 多可町ハートフル学業支援金給付認定基準について 議案第25号 各審議会・委員会・協議会等の委員の選出について
令和3年 5月27日	定例	議案第26号 多可町教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則について 議案第27号 多可町教育委員会告示で定める申請書等の押印の特例に関する告示について 議案第28号 多可町教育委員会訓令で定める申請書等の押印の特例に関する訓令について 議案第29号 多可町要保護児童対策地域協議会設置要綱の一部改正について 議案第30号 多可町「あったか あいさつ運動」表彰要綱の制定について 議案第31号 多可町の教育の点検及び評価委員の選任について
令和3年 6月24日	定例	議案第32号 多可町通園バス管理運営規程の一部改正について 議案第33号 多可町学校給食センター運営委員会要綱の一部改正について
令和3年 6月24日	総合	協議事項 コロナ禍における児童生徒の心のケアや環境の改善について ヤングケアラー問題について

開催日	区分	付議案件等
令和3年 7月28日	定例	<p>議案第34号 令和4年度に使用する小学校教科用図書、中学校教科用図書及び学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書の採択について</p> <p>議案第35号 多可町子どものための教育・保育に関する利用者負担額を定める条例施行規則の一部改正について</p> <p>議案第36号 多可町保育施設入所選考基準要綱の一部改正について</p>
令和3年 8月26日	定例	議案第37号 令和2年度多可町の教育の点検及び評価について
令和3年 9月24日	定例	議案第38号 多可町子育て緊急特別給付金事業実施要綱の一部改正について
令和3年10月28日	定例	承認第 3号 多可町教育委員会後援名義申請の承認について
令和3年11月25日	定例	<p>議案第39号 多可町教育委員会規則で定める申請書等の押印の特例に関する規則について</p> <p>議案第40号 令和4年度多可町教職員人事異動方針について</p> <p>議案第41号 あったかあいさつ表彰受賞者について 令和3年度12月補正予算案について</p> <p>協議事項 多可町認定こども園通園バス運営費補助金交付要綱の制定について 多可町認定こども園通園バス購入費補助金交付要綱の制定について</p>
令和3年12月24日	定例	議案第42号 多可町図書館条例施行規則の一部改正について
令和3年12月24日	総合	協議事項 2期吉田町政所信表明
令和4年 1月 4日	臨時	— 議案・承認案件なし
令和4年 1月26日	定例	<p>議案第 1号 多可町立小学校及び中学校の通学路に関する要綱の制定について</p> <p>多可町特別職に属する非常勤の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について</p> <p>協議事項 多可町産前産後ヘルパー派遣事業実施要綱の制定について 多可町地域における小学校就学前の子どもを対象とした多様な集団活動事業の利用支援事業実施要綱の制定について</p>
令和4年 2月24日	定例	<p>議案第 2号 多可町立中学校生徒遠距離通学補助金交付要綱の一部改正について</p> <p>議案第 3号 多可町立中学校生徒通学定期券交付要綱の一部改正について</p> <p>議案第 4号 令和4年度 多可町教育方針について</p> <p>多可町保育士等処遇改善臨時特例交付金(保育士・幼稚園教諭等処遇改善臨時特例事業)交付要綱の制定について</p> <p>多可町保育所等におけるICT化推進事業補助金交付要綱の一部改正について</p> <p>多可町保育体制強化事業補助金交付要綱の一部改正について</p> <p>協議事項 多可町新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金交付要綱の一部改正について</p> <p>多可町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について</p> <p>多可町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正について</p>
令和4年 3月23日	定例	議案第 5号 多可町ハートフル学業支援金給付条例施行規則の一部改正について

(3) 教育委員会会議以外の主な活動状況

①研修等

名 称	実 施 日	開 催 場 所
兵庫県市町村教育委員会連合会 定期総会及び研修会	書面決議	
播磨東地区教育委員会連合会 総会及び研修会	令和3年 7月28日	多可町役場 (オンラインで開催)
全県夏季教育委員会研修会	令和3年 8月26日	多可町役場 (動画を視聴)
近畿市町村教育委員会研修大会	令和3年11月 1日	尼崎市総合文化センター
市町村教育委員会オンライン協議会	令和3年11月18日	多可町役場 (オンラインで受講)
播磨東地区教育委員会連合会研修会	令和3年12月15日	多可町文化会館

②教育委員会関連事業

ア)入学式・卒業式

	小学校	中学校
入学式	令和3年 4月 8日	令和3年 4月 8日
卒業式	令和4年 3月23日	令和4年 3月16日

イ)運動会・体育祭

	小学校	中学校
運動会・体育祭	令和3年10月 9日	令和3年10月12日
	令和3年10月16日	令和3年10月21日
	令和3年10月30日	

ウ)学校園訪問等

小学校5校、中学校3校、認定こども園等6園への学校園訪問

※新型コロナウイルス感染対策のため、オープンスクール・学習発表会等は参加できませんでした。

### 3. 教育委員会の点検・評価

#### (1) 点検・評価方法

##### ①点検・評価の対象

令和3年度多可町の教育委員会事務事業とします。

##### ②点検・評価の方法

各課の事務事業を「点検・評価シート」により4段階評価で自己点検を行いました。また、管理及び執行の状況について客観性を持たせるため、教育に関して学識経験を有する外部評価委員に評価と講評をいただき、「令和3年度多可町の教育の点検及び評価報告書」を作成しました。

〔評価基準〕

A	目標を上回っている
B	目標は達成されている
C	目標の達成がやや不十分である
D	目標の達成が不十分である

※「－」・・・目標を設定していない。

※「／」・・・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施できず評価していない。

※「B」・・・新型コロナウイルス感染症の影響により、事業を実施したものの実績値が取れない。

##### ③評価委員

当 山 清 実 兵庫教育大学大学院学校教育研究科 教授

吉 田 和 志 元兵庫教育大学大学院学校教育研究科 特任教授、元県立高等学校 校長

##### ④点検・評価の構成

###### ア) 項 目

教育委員会主要な事業の23項目を点検しました。

###### イ) 事業名

主な施策、事業名を掲げています。町独自事業は網掛け表記をしています。

###### ウ) 事業を構成する業務・自己評価・今後の方向

点検・評価シートに記載しています。

※なお、令和4年度の目標・予定値については、新型コロナウイルス感染症の影響を勘案した数値となっています。

###### エ) 評 価

外部評価委員による総合評価及び講評をいただきました。

##### ⑤公 表

多可町ホームページへ掲載し、町民の皆様に公表します。



## (2) 総括評価票

- ① 教育総務課  
(図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター)
  
- ② 学校教育課
  
  
- ③ こども未来課

(2) 総括評価票

① 教育総務課(図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター)

所 管	教育総務課(図書館・那珂ふれあい館・学校給食センター) 総括評価票	
組織目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の学校教育のあり方を考える会の運営</li> <li>・第2次多可町教育ビジョン(多可町教育振興計画)の進捗管理</li> <li>・多可町学校施設等長寿命化計画の適正な運用</li> <li>・就学援助、ハートフル学業支援等の推進</li> <li>・多可町の教育の点検及び評価の実施</li> <li>・図書館の充実</li> <li>・安全・安心な学校給食の提供と食育・地産地消の推進</li> <li>・学校園施設の環境改善の推進</li> <li>・児童生徒及び教職員の健康管理等</li> <li>・那珂ふれあい館の活性化</li> </ul>	
緊急課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍における子どもの貧困対策</li> <li>・子どもたちにとって望ましい教育環境の実現、生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会との調整</li> <li>・多可町学校施設等長寿命化計画に基づき、予防保全的な施設改修工事計画の検討</li> <li>・学校給食における地産地消の推進</li> <li>・第2次多可町教育ビジョンの進捗管理</li> </ul>	
評価事業名	講 評	評 価
I-1 教育委員会運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てふれあいセンターに出向いて「移動定例教育委員会」を開催したこと、及び子育て世代の意見を直接聞いたことは評価できる。</li> <li>・オープンな教育委員会に向けて、今後も教育・保育現場の生の声を把握できるよう運営方法を工夫すること。</li> </ul>	B
I-2 教育委員会事務局事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センター災害共済給付事務について、申請が増加傾向にある中で、今後も適切な給付手続きを行うことができるよう環境の整備に努めること。</li> </ul>	B
I-3 学校園施設整備事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校舎の改修等について、引き続き安全性と利便性を考慮しつつ、ニーズに応じた改善を図ること。</li> </ul>	B
I-4 就学援助事業、ハートフル学業支援金給付事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種援助制度について、工夫して周知が行われている点は評価できる。</li> <li>・必要な家庭にきちんと支援の情報が届き、かつ簡便な方法で申請ができるよう努めてほしい。</li> </ul>	B
I-5 図書館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全般的に、地域住民のニーズに応えつつ事業を順調に進めていることは評価できる。</li> <li>・ICT技術の活用により、図書館業務の一層の効率的な運営と充実につながることを期待する。</li> </ul>	A
I-6 那珂ふれあい館運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にもかかわらず、自主イベントへの参加者数が増えている点は、工夫した取組の成果であり、高く評価できる。</li> <li>・更に魅力的な事業を展開するためには、参加者の満足度にも着目し、QRコードでのアンケートを取り入れるなど参加者の意見を集約すること。</li> <li>・新たな参加者の獲得に向けて、出前講座等の積極的な講座運営を更に進めてほしい。</li> </ul>	A
I-7 文化財保護事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「多可の里風土記」は良質の出来栄えとなつてYouTubeで配信が行われているが、もっと閲覧回数が増えるようSNS等を活用した周知を図るなど、郷土の歴史の発信に努めてほしい。</li> <li>・引き続き、たかテレビ等の情報媒体とうまく連携して文化財に関する情報を発信すること。</li> </ul>	B
I-8 学校給食運営事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費負担金の徴収率が数年間継続して100%であることは、大変評価できる。</li> <li>・物価高の影響が想定されるが、保護者の経済的負担の軽減を図ってほしい。</li> <li>・引き続きアレルギー対応等を徹底し、給食事故の未然防止に努めること。</li> <li>・できる範囲で地元産の安全で安心な食材を活用し、地産地消を進めてほしい。</li> </ul>	B

②学校教育課

所 管	学校教育課 総括評価票	
組織目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いじめ防止対策の推進と青少年健全育成</li> <li>・確かな学力の育成と体力の向上</li> <li>・学校の業務改善、教職員の勤務時間適正化</li> <li>・いのちと人権を守る教育の充実</li> <li>・教職員の資質向上</li> <li>・特別支援教育の充実</li> <li>・「あったか あいさつ運動」とふるさと教育の推進</li> <li>・全小学校区でのコミュニティ・スクールの展開</li> <li>・特色ある学校づくり</li> <li>・不登校対策の充実</li> </ul>	
緊急課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティ・スクールの拡充</li> <li>・心の健康教育プログラムの充実</li> </ul>	
評価事業名	講 評	評 価
Ⅱ－１ 教職員研修事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・悉皆研修において、オンライン研修を利用することで教職員の負担軽減が図れた点は評価できる。引き続き有効に活用すること。</li> <li>・オンライン研修やふるさと多可町研修、エキスパートティーチャーの派遣等、若手教員を育成する町独自の取組は非常に貴重な機会なので、引き続き注力すること。</li> <li>・学校経営の強化と女性管理職登用の実現に向けて、リーダー育成を目的とした研修講座の充実及び女性の参加を促す取組の一層の強化を期待したい。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅱ－２ 特別支援教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別支援教育の推進に向けて、教職員の理解と実践は喫緊の課題であり、専門スタッフの助言を得ながら日々の指導に当たること。</li> <li>・スクールアシスタントと生活補助員の計3人の増員によって、教職員の負担軽減や授業の円滑な進行につながったことは成果であり、引き続き有効活用すること。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅱ－３ 体験教育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍でトライやる・ウィークの活動が制限される中、ICT技術を取り入れて商工会青年部と連携するなど、工夫により充実したキャリア教育ができたことは評価できる。</li> <li>・ふるさとキャリア教育は、多可町の子どもたちが将来の目標を持ち、頑張りのきっかけとなる取組なので、引き続き実施すること。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅱ－４ 生徒指導充実事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不登校児童生徒への支援体制は、現場の努力と外部機関等の活用により、よい方向に進んでいる。</li> <li>・中学校の不登校率が高い状況については、積極的に未然防止策を講じる必要がある。</li> </ul>	<b>A</b>
Ⅱ－５ 青少年健全育成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもたちは地域で育てるの必要があり、今後も学校・家庭・地域が連携を強化し、青少年健全育成に取り組むこと。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅱ－６ 学力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査(小学6年生)において、全国平均正答率との比較が100を超え目標達成がなされた点は評価できる。</li> <li>・多可町学力向上推進委員会が機能しているので、優れた指導方法の共有化を図っていくこと。</li> </ul>	<b>A</b>
Ⅱ－７ 体力向上事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の全国体力調査では、実施前に本人に目標を設定させるなど、児童生徒が主体的に取り組むための具体的な対策を講じること。</li> <li>・新規事業を開始する際は、スクラップ＆ビルドで、既存事業の精選についても検討すること。</li> </ul>	<b>B</b>

③こども未来課

所 管	こども未来課 総括評価票	
組織目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園バス運営の検討</li> <li>・「あったか あいさつ運動」の推進</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点の開設</li> <li>・持続可能な地域に学ぶ体験学習支援事業の検討</li> <li>・ファミリー・サポート・センターたかの運営</li> <li>・幼児教育の質の向上及び充実</li> <li>・播州歌舞伎事業の継承、存続</li> <li>・要保護児童対策の推進、発達支援の強化</li> <li>・第32回子ども絵画展の開催</li> <li>・公私連携によるキッズランドの運営</li> </ul>	
緊急課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園バス運営の検討</li> <li>・「あったか あいさつ運動」の推進</li> <li>・子ども家庭総合支援拠点の運営</li> <li>・地域に学ぶ体験学習支援事業の充実</li> </ul>	
評価事業名	講 評	評 価
Ⅲ－ 1 児童館、子育てふれあいセンター事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てふれあいセンターでの充実した子育て支援施策は評価できる。引き続き子育て世代の交流の拠点としての役割を期待する。</li> <li>・LINEを活用することで、保護者の利便性が向上した点は評価できる。</li> <li>・オンラインで参加できるイベントを取り入れるなど、コロナ禍の影響を最小限にできるよう工夫して事業を展開すること。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅲ－ 2 こども園等運営助成事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定こども園への入園率100%は、大変評価できる。</li> <li>・今後も保育士を継続して確保できるよう、新規の採用や定着に向けて尽力すること。新しい保育フェアの参加対象を高校生にも広げることの効果を期待する。</li> </ul>	<b>A</b>
Ⅲ－ 3 学童保育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育の希望者受入率100%や体調不良児童向け休憩スペースの確保は評価できる。</li> <li>・他クラブとの積極的な交流や指導員の研修に重点的に取り組み、資質・能力の更なる向上を目指してほしい。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅲ－ 4 要保護児童対策事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・産前産後ヘルパー派遣事業について、令和4年度当初から実施できるようになった点は評価できる。</li> <li>・養育支援訪問事業の課題であった特性のある子どもへのかかわりについて、令和4年度からヘルパーへの研修が開始でき、適切な養育支援につながる環境が整ったことは評価できる。</li> </ul>	<b>A</b>
Ⅲ－ 5 子ども・子育て支援事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病児保育事業と在宅等育児手当では、引き続きニーズに的確に対応してほしい。</li> <li>・「ファミリー・サポート・センターたか」について、広報・たかテレビを活用するなど、創意工夫して引き続き周知に努めること。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅲ－ 6 通園バス運行事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通園バス運行事業では、自園運行への移行について今後の方向性を定めることができた点は大きな成果である。今後も費用対効果を含めて検討すること。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅲ－ 7 社会教育推進事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種事業の参加者の増加に向けて、創意工夫した取組を展開してほしい。</li> <li>・「おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展」の出品作品の増加は評価できる。「播州歌舞伎」と並んで、多可町のPRも兼ねた顔となる事業なので、引き続き取組を進めてほしい。</li> </ul>	<b>B</b>
Ⅲ－ 8 幼児教育・保育事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍の影響は理解できるが、予定した研修は方法を変更してでも実施する必要がある。オンライン研修の活用は重点的な課題であり、工夫して取り組んでほしい。</li> <li>・5歳児交流会は、コロナ禍もあり安心して実施できるよう、方法・内容について何らかの改善策を講じる必要がある。</li> </ul>	<b>C</b>

### (3)教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

#### 【 教育総務課】

( 図書館 ・ 那珂ふれあい館 ・ 学校給食センター )

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	教育総務課					
事業名	教育委員会運営事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			1,726 千円			1,275 千円			
根拠法令等	教育基本法、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、多可町教育委員会会議規則、多可町教育委員会事務局組織規則、多可町教育委員会事務委任等に関する規則								
事業目的	多可町教育ビジョンの基本理念「明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり」の実現に向けて、教育行政における重要事項や基本方針を決定すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	教育委員会活動	定例教育委員会等の開催と審議会等への参加	開催回数(回)	13	12	12	B	2	12
			参加回数(回)	18	20	21			20
2	告辞祝辞行為	学校公式行事の告辞・祝辞	学校数(校)	8	8	8	B	2	8
3	総合教育会議	首長部局との協議	開催回数(回)	2	2	2	B	2	2
取組の成果		<p>・定例教育委員会は、新型コロナウイルス感染防止対策を講じたうえで予定どおり開催することができた。なかでも、1月には「移動定例教育委員会」として子育てふれあいセンターで開催し、乳幼児を持つ保護者に傍聴してもらった。委員会終了後に開催した意見交換会では、子育て世代の貴重な意見を聞くことができ、委員会活動の充実を図ることができた。</p> <p>・総合教育会議では、町長と教育委員が「コロナ禍における児童生徒の心のケアと環境の改善」や「ヤングケアラー問題」について協議し、理解を深めた。その結果、多可町と兵庫県弁護士会が協定を締結し、子どもを取り巻くさまざまな教育課題について法的観点からサポートしてもらえる体制を整えることができた。</p>							
課題と改善策		<p>・定例教育委員会については、広く地域住民の意向を反映するため、移動定例教育委員会を開催したり、住民が傍聴しやすい夜間の時間帯に開催したりするなど開催方法を工夫する。</p> <p>・総合教育会議では、現状の教育の課題を把握したうえでテーマを設定し、課題解決に向けて町長と教育委員がより一層緊密に連携して取り組む。</p>							

※自己評価    A. 目標を上回っている    B. 目標は達成されている    C. 目標の達成がやや不十分である    D. 目標の達成が不十分である  
 ※今後の方向    1. 拡大    2. 現状のまま継続    3. 縮小    4. 休止・廃止    5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている    B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である    D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・子育てふれあいセンターに出向いて「移動定例教育委員会」を開催したこと、及び子育て世代の意見を直接聞いたことは評価できる。 ・オープンな教育委員会に向けて、今後も教育・保育現場の生の声を把握できるよう運営方法を工夫すること。	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

				担当課	教育総務課				
事業名	教育委員会事務局事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			2,359 千円			2,163 千円			
根拠法令等	多可町教育委員会の後援名義の使用承認に関する規程、地方教育行政の組織及び運営に関する法律、多可町立小学校及び中学校施設の開放に関する条例、学校保健安全法、多可町立学校教職員安全衛生管理規程								
事業目的	教育委員会の事務事業について点検及び評価を行い、効果的な教育行政を推進すること。児童生徒及び教職員の健康管理を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 6	教職員の資質と指導力の向上						
	基本施策	Ⅲ	生涯学習の充実						
	具体的 施策	Ⅲ - 1	生涯学習の充実						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	後援名義使用許可業務	申請に対して審査	審査件数(件)	17	40	30	—	2	40
2	教育行政事務	教育の点検及び評価 報告書作成	報告書公表 (回)	1	1	1	B	2	1
3	学校施設使用許可業務	学校施設の開放に関 する許可事務	許可件数(件)	1,191	1,600	1,135	—	2	1,600
4	職員健康診断事務	県費教職員の健康診 断を実施	受診者数(人)	99	90	77	B	2	80
			受診率(%) 人間ドック含む	100	100	100			100
5	日本スポーツ振興センター 災害共済給付事務 (給付は歳入歳出外現金)	学校園でのケガ等で災 害共済給付金を支給(セ ンター給付分)	給付件数(発生件数)	248(135)	300	251(136)	—	2	300
			給付金額(千円)	1,970	2,500	2,915			2,500
取組の成果		<p>・教職員のストレスチェックの実施時期を早め、高ストレス者に対する面接指導を夏季休業中に実施した。また、ストレスチェックの結果にかかわらず、悩みを抱えている教職員への面接指導の場を設けたところ、数名から申し込みがあり、ストレス緩和につながる機会を提供することができた。</p> <p>・日本スポーツ振興センター(以下、センター)災害共済給付事務については、教育委員会から保護者全員へ案内文とパンフレットの配布を行うとともに、学校からも該当者へ個別に案内をすることで適切に申請・給付処理をすることができた。</p>							
課題と改善策		<p>「多可町の教育の点検及び評価」については、シート作成に取りかかる前段階において記載方法の統一性や正確性を3課共通のルールとして共有する。</p> <p>・ストレスチェックの結果を受けて、高ストレス者に面接指導の案内をしているが、高ストレス者以外で悩みを抱えている教職員に対して、いつでもスクールカウンセラーや県・町配置の臨床心理士等と相談できる環境を整える。</p> <p>・センター災害共済給付制度の給付を申請する際に、領収書の写しの添付を求めているが、紛失して提出できないケースがある。学校と連携して添付書類の提出を徹底するよう求める。</p>							

※自己評価      A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である  
 ※今後の方向    1. 拡大    2. 現状のまま継続    3. 縮小    4. 休止・廃止    5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている    B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である    D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・センター災害共済給付事務について、申請が増加傾向にある中で、今後も適切な給付手続きを行うことができるよう環境の整備に努めること。	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

		担当課	教育総務課						
事業名	学校園施設整備事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			71,485 千円		5,730 千円				
根拠法令等	文部科学省学校施設整備指針、学校施設環境改善交付金交付要綱								
事業目的	施設を利用するすべての人が安全・安心、快適に利用できるよう環境整備を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 8	修学環境の整備・充実						
		Ⅱ - 9	少子化に対応した新しい教育体制の調査・研究						
	基本施策								
具体的 施策									
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	小学校施設整備	中町北小学校 高架水槽更新工事	工事発注件数 (件)	—	—	1	B	5	—
2	小学校施設整備	中町北小学校 育友会館・旧用務員室ア スベスト調査	調査発注件数 (件)	—	—	1	B	5	—
3	小学校施設整備	中町北小学校 育友会館・旧用務員室 解体撤去工事	工事発注件数 (件)	—	—	1	B	5	—
取組の成果		<p>・中町北小学校高架水槽更新工事については、短期間で工事を完了することにより、授業や学校生活に影響を与えることなく安全な水を供給できるようになった。</p> <p>・老朽化していた中町北小学校育友会館及び旧用務員室について、急きょ取り壊すことを決定した。学校や業者と十分な調整を図ることができたため、児童の安全を確保しつつ3月末までに工事を完了することができた。</p>							
課題と改善策		<p>・令和4年度に、「第2次多可町学校規模適正化基本計画」を策定する予定である。本基本計画の策定後、「多可町学校施設等長寿命化計画(令和2年度策定)」に定める「今後10年間の学校整備計画」を精査し、見直しを行う。</p> <p>・中町南小学校及び杉原谷小学校の女子トイレについて、和式トイレが多く洋式トイレが極端に少ないため、休み時間に洋式トイレの順番待ちの列ができていた状況である。学校生活に支障が出ていることから、早急に和式トイレを洋式トイレに改修し、児童の生活環境の改善を図る。</p>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・校舎の改修等について、引き続き安全性と利便性を考慮しつつ、ニーズに応じた改善を図ること。	



## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	教育総務課					
事業名	就学援助事業、ハートフル学業支援金給付事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			23,403 千円		28,265 千円				
根拠法令等	特別支援学校への就学奨励に関する法律、多可町就学援助規則、要保護及び準要保護生徒援助費補助金及び特殊教育就学奨励費補助金交付要綱、多可町ハートフル学業支援金給付条例								
事業目的	経済的負担を軽減し、就学の機会均等を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	II	学校教育の充実						
	具体的施策	II - 8	修学環境の整備・充実						
	基本施策								
	具体的施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	就学援助制度認定業務	申請相談・受付、認定審査、援助費の支給	延人数(人)	186	200	194	B	2	200
			扶助金額(千円)	13,994	18,000	18,216			18,000
2	要保護児童生徒・特別支援教育就学奨励費補助金業務	申請相談・受付、認定審査、奨励費の支給、国庫補助金交付申請・請求手続き	延人数(特支+通学費)	38	40	42	B	2	40
			扶助金額(千円)	1,489	1,580	1,734			1,800
3	児童生徒に対する就学援助業務	年度末認定人員／在籍小中学生	就学援助率(%)	13.4	13.5	14.3	—	—	14.3
4	ハートフル学業支援金給付業務	申請受付・認定手続きの実施	給付人数(人)	59	65	55	B	2	55
			扶助金額(千円)	3,260	3,900	3,275			3,300
5	子育て緊急特別給付金業務	特別給付金の給付	給付人数(人)	233	—	252	B	5	—
			給付金額(千円)	4,660	—	5,040			—
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1人1台コンピュータの導入に伴い、就学援助対象世帯に対して新たにオンライン学習通信費を支給することで、教育の機会均等を図ることができた。</li> <li>・中学3年生に対して卒業前にハートフル学業支援金給付制度(高校生等を対象とした就学支援制度)の案内を行ったことで、漏れなく制度の周知を図ることができた。</li> <li>・就学援助制度とハートフル学業支援金給付制度の認定者等に対して、「多可町子育て緊急特別給付金(子ども一人あたり20,000円)」を支給し、ひとり親や低所得の子育て世帯に対する支援を行った。また、家計が急変した世帯にも柔軟に対応できるよう、申請期限を延長した。</li> </ul>								
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の利便性を向上するため、就学援助制度及びハートフル学業支援金給付制度については、Webによる申請(スマート申請)を検討する。</li> <li>・ハートフル学業支援金給付制度の申請書様式について、重複して記載する箇所の見直しを行い、申請者の負担軽減を図る。</li> <li>・コロナ禍による経済活動への影響が長期化していることを踏まえ、経済的な理由で困っている子育て世帯への支援を引き続き検討する。</li> </ul>								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である  
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種援助制度について、工夫して周知が行われている点は評価できる。</li> <li>・必要な家庭にきちんと支援の情報が届き、かつ簡便な方法で申請ができるよう努めてほしい。</li> </ul>	

教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	教育総務課(図書館)					
事業名	図書館運営事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			30,325 千円			28,286 千円			
根拠法令等	図書館法、多可町図書館条例								
事業目的	図書等を利用者に提供することにより、生涯学習を推進し、豊かな生活を支援すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進						
	具体的 施策	Ⅲ - 1	生涯学習の充実						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	図書の貸出・返却業務	図書の貸出・返却業務を実施	貸出冊数(冊)	111,858	115,000	128,556	A	2	118,000
2	情報提供業務 (レファレンス)	相談や要望に対して、適切なアドバイスを行い必要図書を提供	レファレンス (件)	1,501	1,400	1,746	A	2	1,500
3	新刊図書購入業務	社会情勢や読書傾向を把握し、図書を購入	年間購入冊数 (冊)	5,442	5,500	5,276	B	2	5,300
4	講座・イベント	読み聞かせ講座や本のリサイクル市等を実施して図書館をPR	開催回数(回)	23	20	34	A	2	25
5	利用者登録業務	利便性向上のため、図書カードを作成	利用者登録率 (%)	49.1	48.0	50.8	A	2	50.0
取組の成果		<p>・建設が予定されている「多可町生涯学習まちづくりプラザ」の中核機能となる新しい図書館の今後のあり方を示す「多可町図書館基本計画」を策定することができた。</p> <p>・緊急事態宣言の発出に伴い、図書館を閉館した期間(約1か月)もあったが、年間を通じて感染対策を行い、おはなし会や読み聞かせ講座、リサイクル広場、クリスマスミニコンサート等、多くのイベントを実施できた。これにより、来館者数や貸出冊数、レファレンス件数ともに増加し、図書館運営事業の充実につながった。</p>							
課題と改善策		<p>・図書館の蔵書を点検する作業は重要な業務の一つである一方で、時間的に大きな負担になっている。ICT技術を活用した蔵書点検作業の効率化を検討する。</p> <p>・図書館利用者の利便性を高めるため、マイナンバーカードでも図書の貸し出しができるよう、新しいシステムを導入する。</p> <p>・子どもから高齢者まで快適に図書館を利用できるよう、カウンターでの杖置きやベビーカーの増設、雑誌コーナーのリニューアルを行う。</p> <p>・多可町図書館では、開設以来、ボランティアグループがイベントの企画運営や図書館だよりの編集等、幅広い分野で活躍している一方で、ボランティア組織の高齢化が課題となっている。図書館協議会へ「ボランティアの育成と活性化について」諮問を行い、提案を求める。</p>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	<b>A</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<p>・全般的に、地域住民のニーズに応えつつ事業を順調に進めていることは評価できる。</p> <p>・ICT技術の活用により、図書館業務の一層の効率的な運営と充実につながることを期待する。</p>	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	教育総務課(那珂ふれあい館)					
事業名	那珂ふれあい館運営事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			14,356 千円			4,680 千円			
根拠法令等	多可町ビジターセンター条例								
事業目的	施設の周知を図り、歴史や伝統文化の学習や学習成果の活用のもととすること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進						
	具体的 施策	Ⅲ - 1	生涯学習の充実						
		Ⅲ - 3	文化の香るまちづくりの推進						
	基本施策								
具体的 施策									
事業を構成する業務	具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値	
				目標・予定値	実績値				
1	多可ふれあいボランティアガイド養成業務	多可ふれあいボランティアガイド会議・研修会開催	開催回数(回)	4	5	6	A	2	5
2	イベント企画調整運営に係る業務	自主イベント参加者	参加者数(人)	406	600	1,013	A	2	1,200
3	談話室企画展業務	企画展実施	実施回数(回)	3	3	4	A	2	3
4	歴史セミナー開催業務	おもしろ歴史セミナー開催参加者	参加者数(人)	-	100	77	B	2	100
5	那珂ふれあい館の運営	年間来館者数	来館者数(人)	2,677	5,000	4,298	B	2	4,800
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア研修は「紙芝居の読み方」にテーマを絞って実施したことで、ボランティアのスキルアップにつながり、参加者から高評価を得るとともに歴史への理解を深めることができた。</li> <li>・緊急事態宣言の発出に伴い体験学習を約2か月間中止したが、スタンプカードの活用や体験メニューの開発、丁寧な接客を行うことでリピーターの獲得につながった。</li> <li>・新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて団体利用が少なかったため、年間来館者数は目標数に達しなかったものの、県立多可高校とタイアップした作品展(書道、絵画)や地域住民の作品展(絵手紙)等の開催により新規来館者の獲得につながった。</li> <li>・歴史セミナーはコロナ禍で定員を制限して開催したことで参加者数は目標を下回ったが、「歴史的建造物」をテーマにした初めてのセミナーということで参加者の満足度も高く、好評であった。</li> </ul>								
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験学習や企画展、セミナー等は、内容がマンネリ化しないよう参加者への満足度調査を行い、その結果を企画・運営に活かす。</li> <li>・コロナ禍においても、町内の小学生が歴史・文化について学習する機会を確保するため、オンラインを活用した講座や職員が学校に出向いて行う出前講座等を実施する。</li> </ul>								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>A</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍にもかかわらず、自主イベントへの参加者数が増えている点は、工夫した取組の成果であり、高く評価できる。</li> <li>・更に魅力的な事業を展開するためには、参加者の満足度にも着目し、QRコードでのアンケートを取り入れるなど参加者の意見を集約すること。</li> <li>・新たな参加者の獲得に向けて、出前講座等の積極的な講座運営を更に進めてほしい。</li> </ul>	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

				担当課	教育総務課(那珂ふれあい館)					
事業名	文化財保護事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度				
			8,054 千円			7,346 千円				
根拠法令等	文化財保護法、多可町文化財保護条例									
事業目的	文化財の保護・周知・活用を図ること。									
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進							
	具体的 施策	Ⅲ - 3	文化の香るまちづくりの推進							
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値	
1	埋蔵文化財発掘調査	文化財の発掘調査の実施	発掘箇所数 (箇所)	2	2	4	A	2	2	
2	文化財整理調査業務	報告書の刊行	刊行数(件)	1	1	3	A	2	1	
3	文化財保護審議会に関する業務	文化財保護審議会開催	開催回数(回)	1	1	1	B	2	1	
4	文化財悉皆調査業務	文化財の悉皆調査の実施	調査延べ日数 (日)	40	40	40	B	2	50	
5	展示企画展等、歴史遺産に関する業務	那珂ふれあい館談話室による歴史資料の展示等	展示回数等 (回)	5	3	2	B	2	2	
取組の成果		<p>・埋蔵文化財について、発掘調査や整理作業を行い報告書2冊を刊行したほか、寺社建築・古文書の悉皆調査や民具収集・整理、ミニ企画展の開催等、歴史文化遺産の保存・活用・啓発を行うことができた。</p> <p>・壽岳文庫所蔵の和紙資料について、東京大学史料編纂所との共同研究により調査を行い報告書を刊行したことで、和紙資料の活用・普及啓発につながった。</p> <p>・「青い目の人形(昭和2年にアメリカから友情と平和の親善大使として贈られたもので、町内の小学校に残っている2代目の人形)」に関して、コークゼミ(地域互助活動向上住民研修会)や多可町図書館との共催で展示と講演会を開催し、町広報紙の特集に掲載したことで、歴史的な価値のみならず平和について考える機会を提供できた。</p>								
課題と改善策		<p>・町の歴史文化遺産を活かしたまちづくりと地域の活性化を図るためには、長期的な視点で計画的に文化財を保存・活用することが必要である。そのため、「第2次多可町総合計画」の下に体系づけられる文化財保存活用地域計画を令和3年度から4年間かけて策定する。</p> <p>・コロナ禍で地域コミュニティの弱体化が進行する中、地域に残る歴史文化遺産を町づくりや地域づくりに活用しながら継承していくことが重要である。それらを地域住民に理解してもらうため、集落の公民館等への出前講座を積極的に実施する。</p> <p>・地域の歴史遺産を分かりやすく啓発するために制作した「多可の里風土記(たかテレビとの共同制作番組)」をたかテレビやSNS等を活用してPRする。</p>								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・「多可の里風土記」は良質の出来栄えとなってYouTubeで配信が行われているが、もっと閲覧回数が伸びるようSNS等を活用した周知を図るなど、郷土の歴史の発信に努めてほしい。 ・引き続き、たかテレビ等の情報媒体とうまく連携して文化財に関する情報を発信すること。	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	教育総務課(学校給食センター)					
事業名	学校給食運営事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			208,420 千円			211,934 千円			
根拠法令等	学校給食法、多可町学校給食センター条例、多可町学校給食費負担金徴収条例、多可町学校給食費負担金債権管理規則、多可町学校給食センター運営委員会要綱、多可町学校給食センター調理等業務委託業者選定委員会設置要綱								
事業目的	食材等の品質や栄養バランスを考慮した給食を提供し、児童・生徒の健康増進と食育の推進を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 3	健やかな体の育成						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	給食調理提供業務	小中学校及び特別支援学校へ給食を提供	給食提供数(食)	309,628	332,500	320,227	B	2	300,000
2	食育指導の充実	小中学校での食育指導	実施率(%)	—	100	100	A	2	100
3	学校給食運営委員会	多可町学校給食運営委員会の開催	開催回数(回)	2	2	2	B	2	2
4	地元産食材の活用	地元産食材の活用(地産地消)	地産地消率(%)	7.1	7.5	6.4	C	2	7.0
5	学校給食における食物アレルギー対応	食物アレルギーへの対応	児童生徒数(人)	28	28	28	B	2	23
			対応率(%)	100	100	100			100
6	給食費負担金の徴収	小中学校の給食費負担金の徴収業務	徴収率(%)	100	100	100	A	2	100
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍で給食時間を活用した食育指導が制限される中、新たに食育デジタル動画3本を制作し、食育指導を行うことができた。</li> <li>・地産地消の取組推進については、令和3年度から「多可町学校給食運営委員会」のメンバーに新たにJAや産業振興課(農業担当)を加えて協議を行ったことで、新規の地元産農作物の活用につながった。(金ごま、キクイモ、ニンニクの芽)</li> <li>・児童生徒が家庭科の授業で考案したメニューを給食で提供する「オリジナル献立」の実施回数を増やしたこと(5回→8回)で、児童生徒の学校給食に対する興味・関心や旬菜旬食・地産地消への理解が高まった。</li> <li>・学校給食におけるアレルギー対策については対応マニュアルを一部見直すとともに、学校の養護教諭を対象とした研修会を開催するなどし、確実に実施する体制を整えることができた。</li> <li>・学校給食費の徴収業務では、令和2年度に引き続いて徴収率100%を達成することができた。</li> </ul>								
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産食材の活用については、「多可町っ子いきいき献立(町費で地産地消の給食献立を提供)」を実施したり、新規の農作物を活用したり、既に活用している農作物の使用回数を増やしたりしたが、地産地消率は下がった。地産地消率の向上に向け、他市町の事例等を参考にしながら引き続き方策を検討する。</li> <li>・学校給食事業において、長引くコロナ禍や原油高・円安等により、令和3年度下半期から物価高騰の影響を受けている。コロナ禍における保護者の経済的負担の軽減と、これまで通りの栄養バランスや量・質を保った学校給食の提供を両立することが課題である。</li> <li>・安全な学校給食を提供するため、国が定める衛生管理基準に基づき、学校での給食の保管環境に関する点検マニュアルを作成する。</li> </ul>								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給食費負担金の徴収率が数年間継続して100%であることは、大変評価できる。</li> <li>・物価高の影響が想定されるが、保護者の経済的負担の軽減を図ってほしい。</li> <li>・引き続きアレルギー対応等を徹底し、給食事故の未然防止に努めること。</li> <li>・できる範囲で地元産の安全で安心な食材を活用し、地産地消を進めてほしい。</li> </ul>	

(3)教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

【 学校教育課 】

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	学校教育課					
事業名	教職員研修事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			1,320 千円		1,545 千円				
根拠法令等	教育公務員特例法、地方公務員法								
事業目的	多可町内全教職員が研修等により自らの資質と指導力を高めること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 6	教職員の資質と指導力の向上						
		Ⅱ - 7	学校の組織力の強化						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	教職員悉皆研修	多可町の教育課題に対応した教職員悉皆研修の実施	研修回数(回)	1	2	1	B	2	2
2	若手教員育成研修	若手教員を対象とした人材育成研修の実施	満足度 (5点満点)	4.6	5	4.58	B	2	4.7
3	エキスパートティーチャーの派遣	学校の校内研修等に経験豊富な教員OBを派遣	派遣回数(回)	23	20	21	B	2	20
4	学校経営研修講座	学校運営を担うリーダー育成を目的とした講座の開催	女性登録人数 ／登録人数	7/21	9/23	5/19	C	2	9/23
5	教職員の指導力向上を目的とした校内研修の推進	教職員の指導力向上を目的とした校内研修の推進	各校平均(回)	18.4	20	11.3	C	2	20
取組の成果		<p>・全教職員が参加しなければならない悉皆研修は、NITS(独立行政法人教職員支援機構)のオンライン研修を利用して特別支援教育に関する共通研修と個々のニーズに対応した選択研修を実施し、内容の充実を図ることができた。また、教職員のスケジュールに合わせた受講が可能となり、業務改善につながった。</p> <p>・若手教員育成研修は、経験の浅い教員がふるさと多可町研修に参加することで多可町の歴史や産業について詳しく知るきっかけとなった。また、エキスパートティーチャー(経験豊富な退職教員)の派遣においては、個人の課題に合わせた指導助言を得ることで授業力の向上につながった。</p> <p>・校内研修は、コロナ禍による学校行事の予定変更等の影響で実施が困難な状況であったが、各校の課題に合わせた研究に工夫して取り組んだ。また、授業改善に向けて多可町学力向上推進アドバイザー(森ノ宮医療大学教授)を活用するなど、研修の充実を図ることができた。</p>							
課題と改善策		<p>・教職員の負担軽減に配慮しながら、教育を取り巻く現代的な課題についての研修を企画する。</p> <p>・学校現場での女性管理職登用の実現に向け、女性活躍の観点から管理職のやりがい等を伝える機会を設ける。</p> <p>・若手教職員の資質と指導力の向上やタイムマネジメントの意識を高めるために、経験豊富なエキスパートティーチャーから指導を受ける機会を継続的に提供することで、更なるスキルアップを図る。</p> <p>・引き続き多可町学力向上推進アドバイザーとの連携を図り、多可町学力向上推進委員会(各校2人)の場を活用しながら、全教職員の共通理解を図るための総括的な研修を実施する。併せて、各小中学校へも派遣し、学力向上に向けた指導の更なる改善や授業づくり等について校内研修の充実を図る。</p>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<p>・悉皆研修において、オンライン研修を利用することで教職員の負担軽減が図れた点は評価できる。引き続き有効に活用すること。</p> <p>・オンライン研修やふるさと多可町研修、エキスパートティーチャーの派遣等、若手教員を育成する町独自の取組は非常に貴重な機会なので、引き続き注力すること。</p> <p>・学校経営の強化と女性管理職登用の実現に向けて、リーダー育成を目的とした研修講座の充実及び女性の参加を促す取組の一層の強化を期待したい。</p>	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	学校教育課					
事業名	特別支援教育推進事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			28,278 千円			34,726 千円			
根拠法令等	文部科学省通知、学習指導要領、発達障害者支援法、学校教育法、障害者の権利に関する条約等								
事業目的	健康課、こども未来課、県立特別支援学校、専門家(臨床心理士)等と連携し、障害のある幼児児童生徒の自立や社会参加ができるように支援すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 4	特別支援教育の推進						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	臨床心理士巡回訪問	特別な支援を要する子どもの観察、支援体制充実に向けた助言	訪問指導回数(回)	27	25	27	A	2	25
2	特別支援教育コーディネーター会議	特別支援教育コーディネーター会議(研修会)	開催回数(回)	1	2	2	B	2	2
3	県立特別支援学校のコーディネーター派遣	県立特別支援学校のコーディネーターを学校に派遣	派遣回数(回)	20	25	18	C	2	20
4	スクールアシスタント、生活補助員の配置	児童生徒への学習及び生活支援	配置人数(人)	22	25	25	B	2	25
取組の成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍ではあったが、例年通りの臨床心理士の巡回訪問ができた。支援の必要な就学前幼児に対し、適切な就学支援につなげることができた。</li> <li>・特別支援教育コーディネーター会議では、サポートファイル(児童生徒の発達特性や支援の内容をまとめたファイル)の改善に向けて、チェック項目を新たに付け加えるなど、業務の負担軽減へとつなげることができた。</li> <li>・県立特別支援学校のコーディネーター派遣については、小学校では適切な就学へつなぐことができた。</li> <li>・スクールアシスタントや生活補助員を適切に配置し、支援を要する児童へのきめ細やかな対応によって、対象児童の学習への意欲や生活態度の向上に加え、教室全体が落ち着いて授業を行うことができるようになった。</li> </ul>							
課題と改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床心理士巡回訪問において、特別な支援を要する児童が合理的配慮を確実に受けられるように、保護者と臨床心理士、特別支援教育コーディネーター、学校園等が連携し、切れ目のない支援体制づくりを強化する。</li> <li>・教職員のニーズに合わせた研修を確実に実施するためにも、リモートによる情報交換の場や個別の研修や相談の場を提供できるようにする。</li> <li>・どの教職員にも児童の実態把握や指導・支援の方法、ニーズに応じた合理的配慮等についての理解を深めてもらうために、県立特別支援学校のコーディネーターの助言を受けたり、特別支援教育についての研修を受けたりできる環境を整える。</li> <li>・スクールアシスタントや生活補助員が児童生徒のニーズに応じた適切な配置になるよう、各校の特別支援教育コーディネーターと情報共有ができるようにする。また、スクールアシスタント等の資質向上のために定期的に研修を行う。</li> </ul>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・特別支援教育の推進に向けて、教職員の理解と実践は喫緊の課題であり、専門スタッフの助言を得ながら日々の指導に当たること。 ・スクールアシスタントと生活補助員の計3人の増員によって、教職員の負担軽減や授業の円滑な進行につながったことは成果であり、引き続き有効活用すること。	



## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	学校教育課					
事業名	体験教育事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			546 千円			750 千円			
根拠法令等	地域に学ぶ「トライやる・ウィーク」実施要綱、多可町教育大綱								
事業目的	地域、学校、家庭が連携し子どもたちに社会体験活動の機会を与え、豊かな人間性とたくましい心を培うとともに、よりよい地域づくりに向けて努力する子どもの育成をめざすこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ-2	豊かな心の育成						
		Ⅱ-5	体験教育の推進						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	トライやる・ウィーク推進事業	生徒の受け入れ登録事業所数	事業所数(所)	75	75	75	B	2	75
2	トライやる・ウィーク推進事業	活動後のアンケート調査	「充実していた」と回答した割合(%)	67	70	77	A	2	80
3	トライやる・ウィーク推進事業	活動後のアンケート調査	自分の考えや行動に影響した割合(%)	59	60	63	A	2	70
4	キャリア教育による成果	夢や目標をもつ児童(小6)	夢や目標をもつ児童生徒の割合(%)	75	77	78	A	2	77
		夢や目標をもつ生徒(中3)		71	72	65	C	2	68
5	ふるさとキャリア教育の実施	中学1年生を対象に地域人材による学習会を実施	実施回数(回)	1	3	3	B	2	3
6	多可町ふるさと検定の実施(小学生)	小学校4年生以上の児童を対象に「ふるさと検定」を実施	小学校 4級以上の割合(%)	63	65	57	C	2	65
7	多可町ふるさと検定の実施(中学生)	中学校の生徒を対象に「ふるさと検定」を実施	中学校 5級以上の割合(%)	55	55	55	B	2	60
取組の成果		<p>・トライやる・ウィークは、5日間のうち2日間は屋外の公園施設で花木植えや草刈り、畑作業等の活動をし、残り3日間は学校で班に分かれて制作活動や職業学習を実施した。従来の方式での実施はできなかったが、働くことの厳しさや楽しさを感じた生徒が約9割、達成感や自信、ルールやコミュニケーションの大切さを感じた生徒が約7割と、活動を通して自分の将来や人とのつながりについて考える機会となった。</p> <p>・ふるさとキャリア教育では、地元で活躍する町内中学校出身の人材を講師として招き、仕事の厳しさや楽しさ、生き方についての学びを深めるとともに、自分自身の生き方・あり方や将来について考える機会になった。</p> <p>・「多可町ふるさと検定」は、町内の小学校3年生以上の児童生徒に実施した。多可町を知ることがふるさとへの愛着や誇りにつながっている。</p>							
課題と改善策		<p>・トライやる・ウィークにおいては、生徒の興味・関心がある分野の事務所の選択肢が広がるように、受け入れ登録事業所の新規開拓を進める。</p> <p>・ふるさとキャリア教育では、地元で活躍する若者等、新しい講師の選定に向けて商工会青年部等との連携を進める。</p> <p>・多可町ふるさと検定では、児童生徒が個々の目標を設定し何度もチャレンジできるよう、反復学習ができる体制を整える。</p>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・コロナ禍でトライやる・ウィークの活動が制限される中、ICT技術を取り入れて商工会青年部と連携するなど、工夫により充実したキャリア教育ができたことは評価できる。 ・ふるさとキャリア教育は、多可町の子どもたちが将来の目標を持ち、頑張りのきっかけとなる取組なので、引き続き実施すること。	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	学校教育課					
事業名	生徒指導充実事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			8,802 千円		8,131 千円				
根拠法令等	地方教育行政の組織及び運営に関する法律、学習指導要領、多可町いじめ防止等に関する条例、多可町いじめ防止基本方針、多可町いじめ防止対策改善基本計画								
事業目的	スクールアシスタント、スクールラブ、スクールカウンセラー等と連携し、児童生徒の実態に応じた指導・支援を行うとともに、多様な専門家の支援による相談体制を充実すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 2	豊かな心の育成						
		Ⅱ - 7	学校の組織力の強化						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	多可っ子悩み相談	悩み相談の対応回数	延べ対応回数 (回)	64	65	73	A	2	70
2	不登校対策の充実	長期欠席者の割合(小学校)	出現率(%)	0.4	0.4	0.46	B	2	0.4
		長期欠席者の割合(中学校)		6.3	6.0	6.0	B	2	5.0
3	いじめ防止対策の充実	いじめ防止対策にかかる外部評価の実施(年間)	外部評価(回)	2	2	2	B	2	2
4	自己肯定感の育成	自分によいところがあると思う児童(小学校)	児童生徒の割合 (%)	72	75	84	A	2	80
		自分によいところがあると思う生徒(中学校)		77	77	71	C	2	77
取組の成果		<p>・「多可町子育て・学校園サポートチーム」や「複合ケア検討会」の場を活用し、学校だけでは対応や解決が困難な事案について、スクールソーシャルワーカーや臨床心理士、関係各課等が連携し、より専門的・多面的なアセスメントを行うとともに、個々の状況に即した適切な支援を行うことができた。</p> <p>・適応指導教室においては、利用する児童生徒のニーズに合った居場所づくりを進めるとともに、担任やスクールラブ(不登校支援員)等の定期的な訪問により、学校と指導員とが連携を密に図りながら支援にあたることができた。また、初めて小学生を受け入れたが、学校や関係各課等と連携して支援に取り組んだ結果、新学期の学校復帰につながることができた。</p> <p>・スクールソーシャルワーカーを新たに1人配置し、別室や適応指導教室、家庭への訪問の充実を図るなど、不登校児童生徒等への対応が強化できた。</p> <p>・町内すべての学校で「多可町心の健康教育」として、児童生徒のストレスチェックと個人面談を実施するとともに、ストレス対処法やソーシャルスキル・トレーニング等についての授業を行うなど、心のケア体制の充実を図ることができた。</p> <p>・「多可町いじめ防止対策改善基本計画」に基づき、弁護士等の専門家で構成する「多可町いじめ防止対策検証委員会」を年間2回開催し、成果や課題を共有しながら各校の取組の充実につながることができた。</p>							
課題と改善策		<p>・中学校においては、不登校生徒の出現率が全国平均と比較して高く、学校だけでは対応が困難な家庭環境等の問題もある。「多可町子育て・学校園サポートチーム」等を活用し、スクールソーシャルワーカーや臨床心理士、関係各課等と連携しながら、適切な支援につなげる。</p> <p>・多可町不登校対策アクションプランに基づく対応の共通理解により、年度当初に不登校対策会議を実施し、現状と課題を共有する。また、機動的な取組につなげる。</p> <p>・適応指導教室の目的や意義を、パンフレット等ですべての児童生徒や保護者に周知するなど、スムーズな利用に向けた理解を促す。また、1人1台コンピュータを活用したドリル教材等で学習面のサポートを強化するなど、不登校支援の充実を図る。</p> <p>・引き続き、年間2回の「多可町いじめ防止対策検証委員会」を開催し、専門家等による客観的な検証を基に、取組の継続的な改善につないでいく。さらに、町のいじめ防止対策の原点に立ち返るなど、事案を風化させない取組を継続していく。</p>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>A</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<p>・不登校児童生徒への支援体制は、現場の努力と外部機関等の活用により、よい方向に進んでいる。</p> <p>・中学校の不登校率が高い状況については、積極的に未然防止策を講じる必要がある。</p>	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

		担当課	学校教育課						
事業名	青少年健全育成事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			5,148 千円			6,638 千円			
根拠法令等	多可町青少年補導委員会設置要綱								
事業目的	青少年健全育成のため関係機関と連携調整を図るとともに、園児・児童・生徒の安全確保を図り、青少年健全育成について広く周知していくこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	1 - 4	安心して暮らせる地域・家庭づくりへの支援						
	基本施策	II	学校教育の充実						
	具体的 施策	II - 7	学校の組織力の強化						
		II - 10	家庭と地域による学校と連携した教育の推進						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	青色回転灯防犯パトロール車による子ども見守り巡回パトロール	学校園等の安全パトロール	パトロール日数 (日)	232	216	217	B	2	216
2	補導委員巡回パトロール及び万引防止活動	補導パトロール及び店舗万引防止活動	パトロール回数 (回)	—	23	1	/	2	23
3	青少年健全育成大会の開催	青少年健全育成大会への参加	参加人数 (人)	—	160	—	/	2	160
4	こども110番の家、こども110番の車	こども110番の家	登録件数 (戸)	439	400	407	B	2	400
5	「9時以降、SNSやりません運動」の推進	小学校は夜9時以降	守ろうと意識している割合 (%)	84	85	82	B	2	85
		中学校は夜10時以降		54	60	63	A	2	63
6	子ども見守りサポート隊との連携	子ども見守りサポート隊	サポート隊 (人数)	107	110	80	C	1	90
取組の成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学期中や長期休業中の青色回転灯防犯パトロール車による巡回パトロールにより、事故や事件の未然防止を図っている。不審者等に対しては、多可町青少年育成センターの安心メールを活用して見守り隊員と情報共有し、出没区域への重点パトロールにつなげることにより、被害を防止した。</li> <li>・青少年健全育成大会は、コロナ禍により中止となった。新たに令和3年12月から実施している月1回のネット見守りにより、町内児童生徒のSNS利用状況を把握し、必要に応じて学校への情報提供や注意喚起を行う体制が充実した。</li> <li>・各小中学校における情報モラル共通カリキュラムに基づく教育の推進や、PTAと連携したSNSの適切な活用についての講習会を実施することにより、各家庭において親子でスマホの適切な使い方について話し合うきっかけづくりができた。</li> </ul>							
課題と改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「9時以降、SNSやりません運動」の達成状況については、目標・予定値に近い結果となったが、スマホ等の所有率が増加傾向にあるため、引き続き各校の主体的な取組推進を支援し、児童会・生徒会による啓発につなげていく。</li> <li>・子ども見守りサポート隊の隊員増に向け、各小学校と連携しながら児童の家族への依頼を積極的に行うなど、令和4年度予定値以上の達成を目指す。</li> <li>・コロナ禍により自粛していた補導委員巡回パトロールや万引防止活動等については、地域の感染状況を見極めながら、可能な限り活動の再開を進める。</li> <li>・不審者等の出没時には、シルバー青パト従事者に情報提供しながら対応を進めてきたが、今後は多可町青少年補導委員会の連絡メールにより全補導委員への情報提供を行い、より多くの委員による見守り強化を図る。</li> </ul>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・子どもたちは地域で育てる必要があり、今後も学校・家庭・地域が連携を強化し、青少年健全育成に取り組むこと。	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	学校教育課					
事業名	学力向上事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			16,085 千円			21,662 千円			
根拠法令等	学習指導要領、多可町学力向上3か年計画								
事業目的	全国的な学力調査等により教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図ること。 教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立し、教育指導の充実に役立てること。 地域人材を活用し、放課後における補充学習を行い、学力向上に努めること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 1	確かな学力の育成						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
1	全国学力・学習状況調査(小学校6年)	小学校国語問題	全国平均正答率との比較	—	100	100.5	A	2	100
		小学校算数問題		—	100	101.1	A	2	100
2	全国学力・学習状況調査(中学校3年)	中学校国語問題		—	100	96.0	B	2	100
		中学校数学問題		—	100	97.9	B	2	100
3	全国規模の学力テスト	小学校国語問題		5	6	5	B	2	6
		小学校算数問題		6	6	6	A	2	6
4	わかる授業づくり(小学校6年)	小学校国語授業	81	85	87	A	2	85	
		小学校算数授業	78	85	88	A	2	85	
5	わかる授業づくり(中学校3年)	中学校国語授業	78	78	77	B	2	78	
		中学校数学授業	81	76	77	A	2	76	
6	多可町がんばりタイム(放課後補充学習)の実施	小中学校における放課後の補充学習の実施	授業回数(回)	230	250	238	B	2	250
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多可町学力向上推進アドバイザーを各小中学校に派遣し、教員の授業力向上に向けた校内研修等の充実を図ることができた。</li> <li>・令和3年度の全国学力・学習状況調査において、小学校では全国平均正答率をやや上回ることができた。中学校ではこれまでより全国平均正答率に近い結果となった。</li> <li>・小学校においては、授業以外の時間でも宿題を通して児童の課題把握に努め、間違えたところの直しとして児童一人一人に丁寧に関わることで、最後までやりきることや小さなつまずきの克服を支援し、基礎基本の定着を図ることができた。</li> <li>・「多可町がんばりタイム」を実施することで、基礎基本の定着を図る練習問題に取り組み、粘り強く最後まで取り組む態度の育成につながった。</li> </ul>								
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「第2期多可町学力向上3か年計画」に基づき、各小中学校で具体的な学力向上プランを作成し、多可町学力向上推進委員会(各校2名)において数値目標を掲げて共有することにより、取組の評価・検証、改善につなげる。</li> <li>・多可町学力向上推進アドバイザーを各小中学校へ派遣し、子どもたちの学力向上に向けた授業改善を継続的に支援する。また、指導の充実を図るために、町内の小中学校で学習規律や指導方法等の共通理解を進める。</li> <li>・わかる授業、子どもたちが主体的に取り組む授業の充実を図るために、「デジタル教科書」や「タブレットドリル」、「スタディーサプリ」等を積極的に利用する。</li> <li>・基礎学力の定着と個々にとっての最適な学びを提供するために、「多可町がんばりタイム」や家庭学習において「スタディーサプリ」等のドリル教材を積極的に活用する。</li> <li>・学力向上に向けて必要な読解力の育成に向け、学校図書館アドバイザーを各小中学校に派遣し、子どもたちの読書活動を支援する。</li> </ul>								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である  
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>A</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国学力・学習状況調査(小学6年生)において、全国平均正答率との比較が100を超え目標達成がなされた点は評価できる。</li> <li>・多可町学力向上推進委員会が機能しているので、優れた指導方法の共有化を図っていくこと。</li> </ul>	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	学校教育課					
事業名	体力向上事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			0 千円			15 千円			
根拠法令等	ひょうご教育創造プラン、多可町教育大綱								
事業目的	運動好きの子どもを育てることを目指し、体力向上に向けての様々な課題解決を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 3	健やかな体の育成						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	多可町体力向上推進委員会	新体力テスト結果分析、課題解決に向けた取組発表	開催数(回)	-	2	1	B	2	2
2	体育科授業等研修会	準備運動の実施やICT機器の活用等	開催数(回)	-	1	1	B	2	1
3	体力・運動能力テスト(小学校)	体力・運動能力テストの実施(小学生)	全国平均を上回った種目数(8種目中○種目)	-	8	6	B	1	7
4	体力・運動能力テスト(中学校)	体力・運動能力テストの実施(中学生)	全国平均を上回った種目数(8種目中○種目)	-	5	2	C	1	3
5	食育指導の充実	朝食を毎日食べる児童	児童生徒の割合(%)	88.5	-	91.6	A	2	89
		朝食を毎日食べる生徒		82.7	-	82.5	B	2	84
取組の成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により、学校での運動機会の制限はあるものの、各小中学校で工夫しながら児童生徒の体力向上に取り組んだ。加美中学校では、学級閉鎖時にリモートで体育の授業を実施するなど、活動制限下でもできる取組のモデルとなった。</li> <li>・各校における体力向上の取組により、令和3年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」(以下、全国体力調査)の結果において、特に小学校で男女とも多くの種目で全国平均を上回るなど、成果が現れている。</li> <li>・体育科授業等研修会については、県教育委員会の指導主事を招いた講義により、実践的な指導法の研究を行い、実際の授業に活かすことができた。</li> <li>・全国体力調査の結果を多可町体力向上推進委員会で分析し、令和4年度に向けた取組の方向性を共有することができた。</li> </ul>							
課題と改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・各小中学校における全国体力調査の目標達成に向けた対策として、コロナ禍でも1人で自主的な取組ができるなわとびを中心とした「たかチャレンジ！」事業を試行的に実施する。</li> <li>・各小学校で取り組んでいるなわとびシートを町内で統一し、児童生徒の意欲向上を促し、家庭等での自主的な体力向上を推進する。</li> <li>・年度末に多可町体力向上推進委員会を開催し、取組の検証と改善を行う。</li> </ul>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校の全国体力調査では、実施前に本人に目標を設定させるなど、児童生徒が主体的に取り組むための具体的な対策を講じること。</li> <li>・新規事業を開始する際は、スクラップ&amp;ビルドで、既存事業の精選についても検討すること。</li> </ul>	

### (3)教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

#### 【 こども未来課 】

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

		担当課		こども未来課					
事業名	児童館、子育てふれあいセンター事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			27,575 千円		22,335 千円				
根拠法令等	多可町児童館条例、多可町子育てふれあいセンター条例								
事業目的	利用する児童に健全なあそび場を与えて、健康を増進し、情操を豊かにすること。家庭や地域の教育力を高め、心身ともに健全な子どもの育成を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I-1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
		I-2	学童保育・児童館事業等の充実						
		I-3	子育て支援の充実						
		I-4	安心して暮らせる地域・家庭づくりへの支援						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
1	児童館運営事業	児童館の開放、講座、体験イベントの開催	利用者数(人)	1,881	4,000	1,463	B	2	2,000
2	児童館なつチャレ事業 (夏の子ども体験学習)	町内外のひとやものを活用した様々な体験活動	開催回数(回)	—	3	2	B	2	5
3	子育てふれあいセンター開放事業	自由利用	利用者数(人)	5,510	6,000	5,593	B	2	6,000
4	子育てふれあいセンター事業	学習会・講座・座談会、出前サロン等	参加者数(人)	3,617	7,000	3,566	B	2	4,000
取組の成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館事業について参加者アンケートを実施することにより、満足度や参加者の要望を把握し、今後のプログラム検討に役立てることができた。</li> <li>・子育てふれあいセンターのLINE公式アカウント開設により、事業の案内や急な予定変更等の連絡事項を発信しやすくなった。また、LINEから、子育てふれあいセンターのホームページや「こどもカレンダー(子ども向け行事予定表)」、「あったかナビ(子育て支援ガイドブック)」につながるようにした。情報収集しやすい環境を整えることで、登録者数も徐々に増え、利用者の利便性を図ることができた。</li> <li>・利用者支援事業として健康課やのびく療育園と連携を図り、気になる家庭へ電話連絡を行った。電話で話を聞くことで、母親の気持ちに寄り添うことができ、その後の利用につながるケースもあった。</li> <li>・多胎児サークルを立ち上げたことで、今後多胎児家庭が気軽に集い、情報共有できる体制が整った。</li> </ul>							
課題と改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・児童館事業の更なる周知と利用者の増加を図るため、LINE登録やホームページをPRするとともに、事業の申込みにWebを活用するなど利用しやすい環境整備に努める。</li> <li>・児童館の「かきかた教室」は人気のある事業で落選者も多かったため、2部制から3部制に変更するなど、多くの子どもが参加できるように実施方法を検討する。</li> <li>・母親が孤立しないよう2か月教室において連絡先を聞き取り、子育てふれあいセンターの利用がない場合は電話連絡等で様子を尋ねながら、利用につなげたり、関係機関につなげたりして、個々のニーズに応じた支援を行う。</li> </ul>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てふれあいセンターでの充実した子育て支援施策は評価できる。引き続き子育て世代の交流の拠点としての役割を期待する。</li> <li>・LINEを活用することで、保護者の利便性が向上した点は評価できる。</li> <li>・オンラインで参加できるイベントを取り入れるなど、コロナ禍の影響を最小限にできるよう工夫して事業を展開すること。</li> </ul>	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

				担当課	子ども未来課				
事業名	子ども園等運営助成事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			605,979 千円		587,261 千円				
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、認定子ども園法(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)、多可町障害児保育事業補助金交付要綱								
事業目的	私立の認定子ども園等の安定した運営と保育環境の維持改善及び障害児保育の実施と運営補助を行うこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
1	認定子ども園等管理業務	入園希望児童の入園事務及び利用者負担額の算定	入園児童数(人)	523	480	492	A	2	460
			入園率(%)	100	100	100			100
2	施設型給付管理業務	認定子ども園等への給付費の支払い	給付費(千円)	588,745	670,611	568,406	B	2	607,188
3	障害児保育事業	障害児保育実施に係る補助金額	補助金額(千円)	17,208	20,013	18,856	B	2	24,830
4	保育士就職フェア開催業務	保育士確保のため6園の合同説明会を開催	参加者数(人)	10	13	15	A	2	17
取組の成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定子ども園等に給付費が適正に支給できたことにより、保育士の確保等安定した保育環境が整えられ、入園希望者に対する入園率は昨年度に引き続き100%を維持することができた。</li> <li>・障害児保育実施に係る補助等を適正に活用することにより、認定子ども園での充実した障害児保育が可能となった。</li> <li>・保育士等処遇改善臨時特例交付金により、賃金等の処遇改善が図れたため、保育士の職場定着につながった。</li> <li>・第3回多可町認定子ども園就職フェアについては、広報等で住民に周知を図ったり、チラシを大学等へ送付したりするなど関係各所へ広くPRしたことで、学生の参加が増加した。参加者の中から、町内認定子ども園へ2人の就職につなげることもできた。</li> </ul>								
課題と改善策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育士等の人材確保対策を継続して行う必要がある。保育士等処遇改善臨時特例交付金等を活用して、保育士等への処遇改善を引き続き実施する。</li> <li>・多可町認定子ども園就職フェアを保育フェアと変更し、対象者を就職希望者だけでなく将来の進路について考えている高校生に広げることで、保育の仕事や認定子ども園の取組を広く知ってもらい、興味を持ってもらう機会を作る。</li> </ul>								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>A</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定子ども園への入園率100%は、大変評価できる。</li> <li>・今後も保育士を継続して確保できるよう、新規の採用や定着に向けて尽力すること。新しい保育フェアの参加対象を高校生にも広げることを期待する。</li> </ul>	



## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	学童保育事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			37,235 千円			36,621 千円			
根拠法令等	多可町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例、多可町学童保育事業実施要綱								
事業目的	授業の終了後に、適切な遊び及び生活の場を通じて児童の健全育成を図ること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 2	学童保育・児童館事業等の充実						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	学童保育事業	放課後の預かり保育 (学童保育の受入体制)	利用者数 (月利用人数合計)	1,922	1,950	1,780	B	2	1,800
2			指導員数(人)	31	31	32	B	2	32
3			希望者受入率 (%)	100	100	100	A	2	100
3			満足度(%)	91	—	94	—	2	94
4	研修事業	兵庫県学童保育指導員 講座・学童保育講座	受講者(人)	29	31	28	C	1	32
取組の成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学童保育の入所希望者に対する受入率は100%を継続することができた。</li> <li>・保護者へのアンケート調査を実施した結果、学童保育の満足度は94%と昨年度に引き続き高い評価を得ることができた。</li> <li>・研修事業では兵庫県学童保育連絡協議会が実施している研修に参加し、指導員の資質向上が図れた。また、公認心理師・臨床心理士を講師に招き「こども理解のコツと関わり」をテーマに研修を行ったことにより、子ども一人一人の特性を把握し、それぞれの子どもに合った保育を行うことができた。</li> <li>・体調不良児童の休憩スペースがない学童保育施設があったが、工夫により全ての施設に休憩スペースを確保することができた。</li> <li>・研修時に他クラブに所属する指導員と交流できるように割り振りを工夫した結果、クラブ間の情報の共有を図ることができた。</li> </ul>							
課題と改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修に参加する指導員が減少しているため、できるだけ早い段階で研修内容や日程の周知を行い、主任支援員を通して積極的に参加を促す。</li> <li>・研修時の交流以外でも指導員が各クラブの様子を直に見ることができる機会を増やすため、シフト作成の段階で主任支援員同士で調整を行い、見学の機会を作る。</li> <li>・特性のある児童の利用が増加し、対応が難しいケースも増えている。公認心理師・臨床心理士に巡回指導を依頼し、児童一人一人に合う柔軟な保育ができるよう取り組む。</li> </ul>							

※自己評価

A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向

1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・学童保育の希望者受入率100%や体調不良児童向け休憩スペースの確保は評価できる。 ・他クラブとの積極的な交流や指導員の研修に重点的に取り組み、資質・能力の更なる向上を目指してほしい。	

### Ⅲ-3 学童保育事業

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	要保護児童対策事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			3,384 千円			4,178 千円			
根拠法令等	児童福祉法、多可町要保護児童対策地域協議会設置要綱、多可町要保護児童対策地域協議会運営規約、多可町子育て家庭ショートステイ事業実施要綱、多可町養育支援訪問事業実施要綱								
事業目的	一時保護やショートステイ、学校園や地域での見守り、医療機関への調整、サービス等の導入により、児童等を保護につなげること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 4	安心して暮らせる地域・家庭づくりへの支援						
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
				目標・予定値	実績値				
1	代表者会議	要保護児童等対策全般 についての情報交換及 び支援施策の検討等	開催回数(回)	1	1	1	B	2	1
2	実務者会議	要保護児童等の定例 的な情報交換	開催回数(回)	4	4	5	A	2	4
3	個別ケース検討会議	要保護児童の状況の把握 や問題点の確認など	開催回数(回)	10	10	8	B	2	10
4	養育支援訪問事業	支援が必要である家庭 に対し、家事及び育児等 の援助等	対応率(%)	100	100	100	A	2	100
			訪問回数	298	—	182			—
5	子育て家庭ショートス テイ事業	児童福祉施設等におい て一定期間養育・保護	対応率(%)	0	100	100	A	2	100
			件数	0	—	2			—
6	支援者向けの研修	子ども家庭相談員・担当 職員の専門性を高める ための研修への参加	参加回数(回)	7	6	10	A	2	5
取組の成果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・実務者会議では、定例会(4回)に加え、不登校のみを対象とした会議を開き、学校教育の担当者 と連携を深めることができた。</li> <li>・産前産後ヘルパー派遣事業の準備を完了し、令和4年度から実施可能となった。</li> <li>・養育支援訪問事業に関して、ヘルパーステーションと調整し、特性のある子どもへのかかわり 方についての研修を令和4年度に実施できるようになった。</li> <li>・支援者向けの研修(計10回)には、担当者3人が参加した。その結果、要保護児童対策地域協 議会の調整担当者としての知識を得ることができた。</li> </ul>							
課題と改善策		<ul style="list-style-type: none"> <li>・産前産後ヘルパー派遣事業の周知について、健康課や子育てふれあいセンター等と連携を図 り、必要な家庭へ支援が届くようにする。</li> <li>・町内で里親が増えていることに伴い、より利用しやすい環境をつくるため、子育て家庭ショ ートステイ事業の受け入れ先(実施施設)として町内の里親と実施施設指定契約を進める。</li> <li>・加東こども家庭センターやアスパルきっず、学校園等との連携を更に深め、支援を必要とする 家庭や児童の早期発見に努め、迅速で適切な支援につなげる。</li> </ul>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>A</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・産前産後ヘルパー派遣事業について、令和4年度当初から実施できるようになった点は評価 できる。 ・養育支援訪問事業の課題であった特性のある子どもへのかかわりについて、令和4年度から ヘルパーへの研修が開始でき、適切な養育支援につながる環境が整ったことは評価できる。	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	子ども・子育て支援事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			16,643 千円			19,694 千円			
根拠法令等	児童福祉法、子ども・子育て支援法、認定こども園法(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)、多可町子ども・子育て会議条例、多可町病児保育事業実施要綱、在宅等育児手当交付要綱、多可町ファミリー・サポート・センター事業実施要綱								
事業目的	「多可町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子どもたちにとってふさわしい幼児期の教育・保育及び地域の子ども・子育て支援を総合的・一体的に推進していくこと。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I-1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
		I-3	子育て支援の充実						
事業を構成する業務	具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値	
				目標・予定値	実績値				
1	子ども・子育て会議	子育て全般についての支援施策の検討	開催回数(回)	2	3	2	C	2	3
2	病児保育事業	病気または病気の回復期に至らない児童を預かる	対応率(%)	100	100	100	A	2	100
			利用件数	33	—	57			—
3	在宅等育児手当	幼児を日中家庭等で子育てする保護者に対して、手当を支給	認定率(%)	100	100	100	A	2	100
			延人数(人)	87	—	88			—
4	主食費助成事業	主食費の一部を助成	認定率(%)	—	100	100	A	2	100
			延人数(人)	—	—	366			—
5	ファミリー・サポート・センターたか	子育てに関する地域相互援助活動の支援	会員数(人)	24	70	34	C	2	50
取組の成果	<p>・子ども・子育て会議において、ファミリー・サポート・センター事業の会員数を増やすことについて協議を行い、改善策等の貴重な意見を集約することができた。</p> <p>・病児保育について、令和3年度から生活保護世帯や住民税非課税世帯等に利用料の減免制度を取り入れた結果、3件の減免申請があり、必要な人に必要なサービスを提供することができた。また、コロナ禍でも利用可能であると周知ができたため、利用者は前年度より24人増加した。</p> <p>・開始から2年目となる在宅等育児手当については、当初計画より多くの申請があり、子育て支援の充実を図ることができた。要綱上、年度ごとの申請を必要としているため、申請者の利便性を高める目的でWebによる申請(スマート申請)ができるように準備を進めた結果、令和4年4月より実現可能になった。</p> <p>・ファミリー・サポート・センターたかでは、利用希望者(おねがい会員)の全ての要望に応えることができた。また、たかっこフェスタや2か月健診でPRを行ったり、広報やたかテレビの文字放送で事業内容の周知をしたりした結果、会員数を増やすことができた。年度末のまかせて会員交流会では、まかせて会員同士で活動の情報交換を行い、スキルアップを図ることができた。</p>								
課題と改善策	<p>・事業開始2年目のファミリー・サポート・センターたかは、コロナの影響で令和3年度もまかせて会員登録数、活動回数ともに当初計画を達成できなかった。2か月健診や広報等でのPRに加え、各種団体のイベント参加やたかテレビでのPR映像放送により周知に努め、会員増加を目指す。</p>								

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である  
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・病児保育事業と在宅等育児手当では、引き続きニーズに的確に対応してほしい。 ・「ファミリー・サポート・センターたか」について、広報・たかテレビを活用するなど、創意工夫して引き続き周知に努めること。	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	通園バス運行事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			39,997 千円		43,767 千円				
根拠法令等	多可町通園バス管理運営規程								
事業目的	町内の認定こども園等の通園、園外活動のための通園バスを運行すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 3	子育て支援の充実						
	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
1	通園バスの確保	通園バスの合計台数 (町所有車及びリース車 含む)	通園バス台数 (台)	7	7	7	B	3	4
		通園バスの利用者数	利用者数(人)	142	120	130	B	3	65
2	通園バスの運行	乗車率(利用人数/定員)	乗車率(%)	40.0	33.8	36.6			32.1
		利用希望対応率	対応率(%)	100	100	100			100
取組の成果		<p>・通園バスのドライブレコーダーとデジタルタコグラフの点検委託により、7台の車両について年間3回の点検を行い、安全で安心できる通園バス運行業務が実施できた。</p> <p>・在園児の減少に伴いバス利用者数も減少しており、利用率も微減しているが、通園バスの利用希望者に対する対応率は100%を継続することができた。</p> <p>・令和4年度以降の通園バスの運営のための検討会議を重ねた結果、令和4年度から中区3園は自園運行することに決定した。</p>							
課題と改善策		<p>・通園バス運行事業全般では、年間の運行経費の削減を図るため、令和4年度から中区3園においては自園運行に移行することになったが、町運営を継続している通園バス(加美区2台、八千代区2台)についても、令和6年度からは自園運行に移行できるよう、引き続き協議する。</p>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である  
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・通園バス運行事業では、自園運行への移行について今後の方向性を定めることができた点は大きな成果である。今後も費用対効果を含めて検討すること。	

教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	社会教育推進事業	事業費 (決算額)	令和2年度		令和3年度				
			3,950 千円		4,499 千円				
根拠法令等	社会教育法								
事業目的	社会教育事業の推進により、子どもから大人における教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、地域における生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与すること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	Ⅱ	学校教育の充実						
	具体的 施策	Ⅱ - 2	豊かな心の育成						
		Ⅱ - 5	体験教育の推進						
	基本施策	Ⅲ	生涯学習の推進						
	具体的施策	Ⅲ - 3	文化の香るまちづくりの推進						
	基本施策	Ⅳ	豊かな人権文化の創造						
具体的施策	Ⅳ - 1	人権尊重のまちづくりの推進							
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
					目標・予定値	実績値			
1	播州歌舞伎	播州歌舞伎の伝承と後継者育成	練習回数(回)	28	35	36	B	2	30
2	子ども向け講座・教室 (伝統文化親子教室)	子ども向け講座・教室の実施	講座回数(回)	42	45	35	B	2	45
3	放課後子ども広場	放課後子ども広場の実施	実施回数(回)	184	174	172	B	2	180
4	おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展	絵画の募集、展示を通して敬老精神の醸成	出品作品(点)	3,646	3,700	6,334	A	2	6,000
5	子ども芸能祭	芸能活動に取り組む子どもたちの発表の場	出演団体(団体)	—	9	3	B	2	9
6	土曜チャレンジ事業 でまえ広場事業	「家庭の日」応援企画事業参加者数	参加者数(人)	233	300	329	A	2	300
取組の成果		<p>・播州歌舞伎クラブは中学生の入部生が多く、コロナ禍でありながら中学生の三番叟とクラブ員の三番叟の両方を披露することができた。また、多くの方から公演依頼があり、計3回の公演を行うことができた。</p> <p>・播州歌舞伎クラブ、カブキッズともに、オンラインを活用することで緊急事態宣言下でも練習を行い、予定通り11月に播州歌舞伎クラブの公演を開催することができた。</p> <p>・子ども向け講座・教室は、コロナ禍にもかかわらず、広報たか8月号の表紙と特集ページへの掲載により子どもたちへの周知が図れたため、新規受講生が増えた。</p> <p>・絵画展は、新型コロナウイルス感染拡大により会場展示を中止し、すべての作品をWeb展示とした。Web展示では、画質向上のため撮影機器の改善を行った結果、作業の効率化を図ることができた。</p>							
課題と改善策		<p>・播州歌舞伎クラブにおいては、練習時にボランティアを活用するなど、地域住民も含めた団体の自主運営での実施を検討する。今後は、播州歌舞伎の周知や保存活動を大きな目標として支援を継続する。</p> <p>・子ども向け講座は年々参加者が減ってきている。放課後に各小学校をまわり、子どもに伝統芸能のPRを行うことで興味・関心を持ってもらえるように努める。また、広報やたかテレビを利用して情報発信を行うことで、多くの目に触れるように努める。</p> <p>・絵画展において、6,000点以上の作品をすべてWeb展示すると容量や時間の問題で画質が落ちてしまうため、絵画の撮影とWebサイト構築を専門業者に委託する。</p>							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である

※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

◎評価委員評価

総合評価	<b>B</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	<p>・各種事業の参加者の増加に向けて、創意工夫した取組を展開してほしい。</p> <p>・「おじいちゃんおばあちゃん子ども絵画展」の出品作品の増加は評価できる。「播州歌舞伎」と並んで、多可町のPRも兼ねた顔となる事業なので、引き続き取組を進めてほしい。</p>	

## 教育委員会の点検・評価シート(令和3年度事業)

			担当課	こども未来課					
事業名	幼児教育・保育事業	事業費 (決算額)	令和2年度			令和3年度			
			280 千円			206 千円			
根拠法令等	子ども・子育て支援法、認定こども園法(就学前の子どもに関する教育、保育等の総合的な提供の推進に関する法律)、幼保連携型認定こども園教育・保育要領、多可町教育・保育共通カリキュラム								
事業目的	保育の充実及び幼児教育の質の向上を図るとともに、幼児教育と小学校教育の接続を円滑にすること。								
多可町教育ビジョン (多可町教育大綱) による位置づけ	基本施策	I	子育て・子育て環境・家庭教育の充実						
	具体的 施策	I - 1	健やかな心身の発達を育む幼児教育の充実						
	基本施策								
	具体的 施策								
事業を構成する業務		具体的活動内容	活動指標(単位)	令和2年度 実績値	令和3年度		自己 評価	今後の 方向	令和4年度 目標・予定値
1	幼児教育研修事業	認定こども園の幼児 教育研修	研修回数(回)	8	10	6	C	2	8
2	教育・保育共通カリ キュラム検証	0～5歳児の共通カリ キュラムの検証	開催回数(回)	—	2	5	A	2	5
3	5歳児交流会	町内の5歳児の交流 会	開催回数(回)	—	1	0	/	2	3
4	幼小合同研修	保育・授業の公開や 合同研修	開催回数(回)	—	5	0	/	1	6
取組の成果		・各認定こども園の秋季園訪問時において、教育・保育共通カリキュラムを一層意識した指導案の作成や保育内容に関する指導を行い、教育・保育の充実を図ることができた。							
課題と改善策		・園児が小学校進学にかかる環境の変化にスムーズに適応できるよう、コロナ禍の影響で中断していた5歳児交流会を開催する。 ・幼児教育から小学校教育への円滑な移行をより一層推進するため、5歳児と小学生の交流の場を設けたり、認定こども園の保育士と小学校教諭が相互の保育参観や授業参観を行う機会を設ける。 ・幼小連携の重要性について共通認識を図るため、令和3年度は開催できなかった幼小合同研修を、保育士や教諭が参加しやすいようオンラインを活用して実施する。							

※自己評価 A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である  
 ※今後の方向 1. 拡大 2. 現状のまま継続 3. 縮小 4. 休止・廃止 5. 終了・完了・管理移管

### ◎評価委員評価

総合評価	<b>C</b>	A. 目標を上回っている B. 目標は達成されている C. 目標の達成がやや不十分である D. 目標の達成が不十分である
評価委員 コメント	・コロナ禍の影響は理解できるが、予定した研修は方法を変更してでも実施する必要がある。オンライン研修の活用は重点的な課題であり、工夫して取り組んでほしい。 ・5歳児交流会は、コロナ禍もあり安心して実施できるよう、方法・内容について何らかの改善策を講じる必要がある。	

**令和3年度**

**多可町の教育の点検及び評価**

**発行者 多可町教育委員会**

**〒679-1192 兵庫県多可郡多可町中区中村町123番地**

**Tel 0795-32-2380 Fax 0795-32-4318**

教育総務課 Tel 0795-32-2384 E-mail kyoikusomu@town.taka.lg.jp

学校教育課 Tel 0795-32-2395 E-mail kyoiku@town.taka.lg.jp

こども未来課 Tel 0795-32-2385 E-mail kodomo@town.taka.lg.jp